

平成 30 年度 子ども大学はにゅう 学習の記録

～子ども大学はにゅう学習の記録～

1 日目：9 月 1 5 日（土曜日）

2 日目：1 0 月 2 0 日（土曜日）

3 日目：1 1 月 1 7 日（土曜日）

4 日目：1 2 月 8 日（土曜日）

1 日目：2 0 1 8 年 9 月 1 5 日（土） 埼玉純真短期大学

時間	内容	講師	会場
午前 9 : 00 ~ 9 : 30	入学式		埼玉純真短期大学
午前 9 : 45 ~ 10 : 30	いつ作る?今でしょ! (友達の作り方 教えます!)	高橋努先生 (埼玉純真短期大学)	
午前 10 : 40 ~ 11 : 40	パラリンピックを 体験しよう	伊藤道雄先生 (埼玉純真短期大学) 埼玉県障害者スポーツ の皆様	

今年も第 8 期「子ども大学はにゅう」が開催されました。

子ども大学を卒業した中学生、高校生が今度は運営側で小学生のサポートを行いました。



今回サポーターは8名の皆さんが務めており、自ら進んで行動し、協力し合います。

●受付

前回と同様に受付をサポーターが担当します。
名前の確認や、参加費を受け取り、資料を渡す作業をそれぞれ分担し、参加されるお子さんやその保護者の方とやり取りを行いながら、対応しました。

この日はあいにくの雨でしたが、4年生8名、5年生4名、6年生7名の計19名が参加しました。



●入学式

いよいよ、第8期子ども大学はにゅうが始まります。

今回より、司会はサポーターにより進行をしました。まず、開式のことばが、埼玉純真短期大学の伊藤道雄先生からありました。

それから、藤田利久学長（埼玉純真短期大学）、秋本文子副学長（羽生市教育委員会教育長）よりお言葉をいただきました。





●グループの役割決め

今回の子ども大学では、多くの小学校から参加をしていただきました。サポーターが、話しやすい雰囲気づくりをしてくれ、自己紹介をし合うグループもありました。各グループでリーダー1名・感想係2名・発表係2名を決め、授業を行う教室へ移動をしました。



●1限目：「いつ作る？今でしょ！（友達の作り方 教えます!）」

第8期子ども大学はにゅうの記念すべき最初の講義は、高橋努先生（埼玉純真短期大学）による「いつ作る？今でしょ！（友達の作り方 教えます!）」です。

まず、はじめに「仲良くなるためにバースデーチェーンを作りましょう」ということで、誕生日（4月2日→4月1日）の順に輪になって並ぶ活動をゲーム感覚で行いました。ルールは「話をしてはいけない」「ジェスチャーで（指を使って表現をする）」ということです。沈黙の中、子ども大学生達と保護者の方も混ざって大きな輪を作りました。並び終わったら、名前と誕生日を言って答え合わせを行いました。並び順を間違わずに、見事並ぶことができました。

また、「五枚のコピー用紙を使って、どれくらい高く積めるかな？」という問いに、話し合いながら紙を折ったり、細長く丸めたり工夫を凝らして協力し合いながら取り組んでいました。「のり、セロファンテープ、ホチキス等の接着させるものは使わない」「10秒間崩れない」ことを条件に積み重ねていきます。

いよいよ本番、床に置いたフラフープの中にタワーを作ります。10秒間崩さないでタワーを作るのは意外と難しいようで、どのグループも苦戦していました。丈夫なタワーを作ったグループは1分近く崩れないものもありました。また、

あるグループは、三角や四角の柱を作り、とにかく高く積む事を目標にタワーを作りました。

子ども達の感想では、「協力することで、きずなが深まったと思います。」や「紙をどれだけ高く積めるかをやって、班ごとに仲良くなれたように感じました。」という意見が聞けました。



● 2 限目：「パラリンピックを体験しよう」

2 限目は、伊藤道雄先生（埼玉純真短期大学）による講義でパラリンピック競技「ボッチャ」の体験授業です。ボッチャ競技は、2チームに分かれ、目標となるジャックボール（白いボール）に、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールをいかに近づけるかを競うスポーツです。カーリングにも似ていますが、年齢や障害に関係なく誰でも挑戦できる競技です。今回は講師として、埼玉県障害者スポーツ協会事務局長の青葉さんと石川さんが、ボッチャのルールを実践しながら教えてくれました。

4グループで対戦し、ゲームが始まると大盛り上がりで、ジャックボールの近くに赤や青ボールが近づくと拍手が湧きました。途中、保護者の方や市役所職員、埼玉純真の教職員も一緒になって参加しました。

子ども大学生達からは、「ボッチャがとても楽しかったです。名前は知っていましたが、やったことがなかったので、今度のパラリンピックでも応援したいです。」「こういう体験はあまりできないので、とても楽しかったです。」などの感想がありました。



以上

2日目：2018年10月20日（土） 埼玉純真短期大学

時間	内容	講師	会場
午前9:00～9:40	角帽を作ろう	羽生市青少年相談員の皆さん	埼玉純真短期大学
午前9:50～10:40	世界「最速」のワザを持つ食虫植物ムジナモの不思議に迫ろう	鯨坂 瑞暉先生 (誠和福祉高等学校)	
午前10:50～11:40	世界に1つだけ私だけのモビールを作ろう	小日向 千秋先生 (埼玉純真短期大学)	

● 1限目：「角帽を作ろう」

羽生市青少年相談員の皆様をお迎え、「角帽を作ろう」の講座で、修了式にかぶる角帽を手作りしました。



まずは、メジャーで頭の大きさを測り、頭のサイズに合わせて入るように黒い画用紙を丸めます。その上に四角に切った板をボンドで接着させ、さらに黄色い房を付けたら完成です。自分のサイズに合った角帽を作るのに苦戦もしていましたが、頭の大きさを測る時は、友達と協力し合いながら制作し、それぞれ素敵な角帽ができあがりました。修了式で使うのが楽しみです。

子ども大学生からは「角帽づくりは難しかったけど、しっかりできて楽しかった。」という感想がありました。



● 2 限目：「世界『最速』のワザを持つ食虫植物ムジナモの不思議に迫ろう」

羽生市にある埼玉県立誠和福祉高校の教員の鱒坂瑞暉先生による「世界『最速』のワザを持つ食虫植物ムジナモの不思議に迫ろう」の授業です。

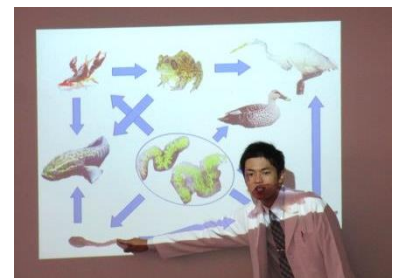


ムジナモは、国内最後の自生地といわれている羽生市の宝蔵寺沼に生息しており『宝蔵寺沼ムジナモ自生地』として、国の天然記念物に指定されています。ムジナモは、光合成だけでなく、小さな虫や動物を捕まえて食べることで、栄養にできるのが食虫植物の特徴です。ブドウの実のように見えるところが二枚貝の様な構造になっており、そこにミジンコなどが入ると感覚毛に触れ閉じる仕組みとなっていて、消化腺毛で分解し、吸収毛で栄養分を吸収する仕組みになっています。電子顕微鏡で撮影をしたムジナモの様子を見ることができ、植物のはたらきがわかり、子ども大学生も興味津々でした。

実際にムジナモの葉っぱをなでてみると一瞬で閉じました。さすが世界最速！

ムジナモは、数年前まで絶滅するかもしれない植物とされていました。その原因は、ムジナモを食べるオタマジャクシやザリガニ、カルガモが増えたことや、水質汚染、沼や池の減少など、様々な要因が重なり、数が減ってしまいました。現在は羽生市教育委員会や、ムジナモ保存会、埼玉大学の研究室の方々が中心となり、ムジナモの数も増えてきました。

また、子ども大学生からは「ムジナモの生態について知れてよかったです。特に食虫植物ということは知らなかったもので、びっくりしました。「食物連鎖」は学校で習ったので改めて、今回の授業を通し、復習することができました。」という感想も聞くことができました。



● 3限目：「世界に1つだけ 私だけのモビールを作ろう」

動く彫刻と呼ばれるモビールづくりを学びました。



針金、画用紙、セロファンテープ、ボンドを使って制作を行います。針金を30センチくらいの長さにカットして直径1センチほどの輪を針金の真ん中に作り、針金の先端両方に自分たちの好きな形に切り取った画用紙をセロファンテープやボンドを使って貼り付けました。

片方が重すぎると美しいモビールにならないので、画用紙の大きさを調整しながら制作を行います。ペンチの使い方に苦戦した場面もありましたが、針金をつなげ、工夫を凝らして世界に一つだけのモビールを完成させることができました。

「バランスを取りながら作るのが難しかったけど、とても楽しかったです。」や「自由研究にも活かそう。」などの子どもたちの意見もありました。



以上

3日目：2018年11月17日（土） 埼玉純真短期大学

時間	内容	講師	会場
午前9：00～11：00	はにゅうの産業と歴史を知ろう（スーパーケンゾーノール店見学）	羽生ロータリークラブ スーパーケンゾーノール店の職員の皆様	埼玉純真短期大学

● 1限目～2限目：「はにゅうの産業と歴史を知ろう」

今回は学外での学習で、スーパーケンゾーノール店に伺い店内やバックヤードの見学をさせて頂きました。

営業本部長の井上さんからお話しを聞く事ができました。スーパーケンゾーは他の店との差別化を考え、鮮魚を中心により美味しいもの、より新鮮なもの、そしてより品質の高いものをお客様に提供する事を第一として考えているスーパーマーケットでした。



店内は、入口に彩り豊かな果物や野菜を置き、更に進むと魚や肉、惣菜などが並んでいました。創業は魚屋だったということもあり、魚の品ぞろえが豊富で鮮度の良い物が並んでいます。また、鮮魚は社長が直々に市場に行って仕入をすることもあるそうで、おいしい魚を安く店頭に置くことができるそうです。

スーパーケンゾーでは、お客様のニーズに合わせてフェアを仕掛けており、人気のコストコ商品を仕入れ、販売をするフェアを実施し、お客様が求めているものと考えて提供していることが分かりました。今回、見学した日は「駅弁まつり」を実施しており、それを目当てにいらっしゃるお客様も多くいました。

バックヤードでは、青果、精肉、鮮魚、お寿司、惣菜で部屋が分かれていて、それぞれを見学させていただきました。

青果では、野菜を袋や、トレーなどに小分けにして、手に取りやすいように陳列されていました。



鮮魚は、鮮度が落ちないように専用の機械でトレーに乗せラップをして店頭にならべていました。また鮮魚とお寿司の部屋は隣接しており、魚をお寿司用に加工したら、すぐに小窓を通して渡せるように工夫されていました。その為、鮮度を落とさずにお寿司を作ることができるそうです。その他にもお寿司の部屋は鮮度を保つためにあえて狭く作ることで、欲しい物がすぐに手に届くような配慮をしていました。子ども大学学生からも、「中が狭いことにしっかりとした理由があることに驚きました。」という感想がありました。

精肉では、人の手で包丁を使ってカットする方法と、機械を使ってカットする方法を、使用用途によって変えることにより、味を落とさずに提供している工夫がされていました。

最後にお惣菜では、他の部門に比べて多くのスタッフがおり、作業をしていました。店頭は、おぼんざいの数が豊富で一人暮らしの方でも、手に取りやすい量のおかずが、たくさん並んでいました。

子ども大学学生からの感想では「普段見られ裏側や、秘密がわかったので、とてもよかったです。今後、ケンゾーに来たとき、今日教えていただいたことを思い出して、買い物に来たいと思います。」と話してくれました。



以上